



区民
かわ
ら
版

第7回 山科区基本計画策定委員会開催

昨年12月6日、第7回の策定委員会を開催しました。

今回は、将来像のキャッチフレーズの決定をはじめ、計画案に対する意見募集結果等の反映や計画の進捗管理について最終的な検討を行いました。

キャッチフレーズは、「心豊かな 人と緑

の“きずな”のまち 山科」に決定し、また、各委員からは、「計画推進に当たり、定期的にタウンミーティングや意見交流会、区民フォーラムなどを行ってはどうか」、「自らが計画を実践することが大事」といった意見が出されました。

策定委員会は今回が最終回で、今後、1

月中旬に策定委員会から区長に対する計画案の答申が行われ、3月までに計画の冊子等を作成し、皆さんに配布していく予定です。

問合せ先 区総務課企画広報担当 (☎592-3066)



第2回 山科区交通問題研究会開催

学識経験者、地元団体、交通事業者などの参加により、交通問題の対応策等を検討する山科区交通問題研究会の第2回会議を、11月25日に区役所で開催しました。区民の皆さんから募集したアイデアについて報告し、既存の公共交通システムの改善方策について、バス待ち環境や案内表示の改善と

いった他の地域での事例を基に、議論しました。

今後、山科区での公共交通の利用促進を図る方策について、関係機関が具体策の調査や検討を進めていくこととしました。

問合せ先 区まちづくり推進課(☎592-3088)



<多数のご来場ありがとうございました>

ふれあい“やましな”2010 区民まつり 11月23日

「エコ・やましな」をテーマにしたこのまつりでは、ごみの分別も定着し、来場された方々の意識が年々高まっていることが

感じられます。

舞台では、ダンスや太鼓演奏などが行われ、大いに盛り上がりしました。お楽しみコーナーでは、子どもたちがふわふわやミニSLで楽しむ姿があり、子どもからお年寄りまでたくさんの方が楽しめた一日となりました。

問合せ先 区まちづくり推進課(☎592-3088)



昨年11月19、20日、山科の勤修寺と随心院を舞台に、多彩なイベントが開催されました。訪れた方は、色鮮やかな紅葉のライトアップや、清水焼の陶灯路の灯りからなる幻想的な雰囲気を楽しんでおられました。

また、両寺院での講演会やコンサートの会場には、多くの方々に来場いただきまし

第2回京都・やましな観光ウィーク 恋の地“京都・やましな”へ 開催!

た。「おこしやす“やましな”フェア」では、お土産物をはじめ、温かいうどんやスープなどを販売し、好評を得ました。

今後多くの観光客が訪れることが期待されます。

問合せ先 区総務課企画広報担当 (☎592-3066)

市チャンピオン大会(女子バレーボール)



11月21日、京都市チャンピオン大会が開催され、山科区の代表として山階南チームが3年連続で出場しました。

初戦となった、2回戦で中京区の本能学区と対戦し、フルセットの接戦となりましたが、惜しくも1-2で敗れました。

問合せ先 区まちづくり推進課(☎592-3088)

おこしやす “やましな”協議会 ミス小野小町と大阪・ 京橋で山科をPR!



11月2日、京阪電車京橋駅において、おこしやす“やましな”協議会のキャラバン隊が、秋の山科への観光を呼び掛けるため、PR活動を行いました。会員14名と、振り袖姿で登場した随心院のミス小野小町が、山科の観光マップやイベントのチラシをはじめ、山科特産品の飴などを配布し、行き交う方々の、注目を集めていました。

問合せ先 区総務課企画広報担当 (☎592-3066)

ボランティアの皆さんで区役所前 花壇に葉牡丹を植栽しました

ふれあい“やましな”実行委員会では、山科区を花いっぱい潤いのあるまちにするため、区民のボランティアの皆さんと区内事業者、行政が協働して花苗の植栽に取り組んでいます。

11月18日には、葉牡丹を区役所前花壇に植栽しました。この葉牡丹は、ボランティ

アの皆さんが7月下旬に種まきし、丹精込めて育てたものです。新年を迎えた区役所で、鮮やかな紅白の葉牡丹で描かれた模様で、より美しさを増しています。

その他にも、東部文化会館やJR山科駅前の花壇に四季折々の花を植栽するほか、落ち葉堆肥の作成など幅広い活動を展開しています。随時、「花と緑のまちづくりサポーター」(ボランティア)を募集していますので、ぜひご参加ください。

対象 区民または区内に通勤・通学の方



申込方法 はがきかFAX、または来所
※はがき、FAXの場合は氏名・郵便番号・電話番号・FAX番号(あれば)をご記載ください。

申込・問合せ先 〒607-8511(住所不要)区まちづくり推進課(☎592-3088、FAX502-8881)

もっと
知りたい!

山科の大学

第5回 京都橘大学「新しい紙芝居を山科で創ったりもする文化政策研究センター」

京都橘大学文化政策研究センターでは、山科区内の文化資源を発掘し、今に生かし未来に伝えることを、地元の人たちやNPO、アーティストなどと一緒企画し活動してきました。その活動の一つとして、本学の都市環境デザイン学科の学生や教員もメンバーとなって2006年から開始した「めくる

めく紙芝居」プロジェクトがあります。この活動は、次の3つの特徴を持っています。

一つ目は、懐かしい紙芝居メディアを使いながら、文化、とりわけ、絵画や音楽、それにお芝居やダンスまでを一緒に楽しみ創出できる芸術家による先端アーツ活動という特徴です。



く山科の潜在的住人として一緒になって参加している、地域密着活動ということです。

三つ目としては、芸術文化政策と障碍福祉と地域政策(まちづくり)という、今まで結びつかなかった政策を併せ持つ、実践的な研究活動であることです。

この活動を続けてこれたのは、

二つ目の特徴は、障がいのある山科の人たちとその支援者、そして学生も同じ

多くの皆さんのご理解とご協力があったからでした。東御坊山科別院さんには、本堂を公演場所に貸していただき、今も続くワークショップは、山科青少年活動センターを使用させていただいています。障碍のある人もない人も一緒に楽しめるこの「めくるめく紙芝居」を見掛けただけで、気楽にご参加ください。お待ちしております。

ブログ: <http://www.voluntary.jp/weblog/myblog/436/>

京都橘大学現代ビジネス学部
小暮宣雄教授執筆